

日立急速充電器

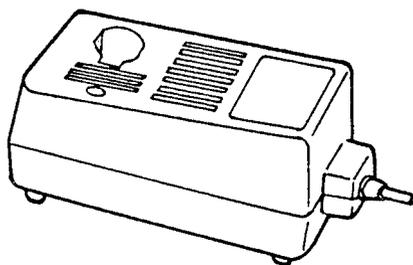
UC 2

取扱説明書

このたびは日立急速充電器をお買い上げいただき、ありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、工具本体の取扱説明書と一緒に、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



警告， 注意， 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」と「 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。また、「 注」の意味も説明します。

 **警告**： 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意**： 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **注**： 製品の据付け，操作，メンテナンスに関する重要なお注意。

充電器の安全上のご注意

- 火災，感電，けがなどの事故を未然に防ぐために，次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に，この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上，指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警 告

- ① 専用の蓄電池を使用してください。
 - この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の蓄電池以外は使用しないでください。
破裂して傷害や損傷を及ぼす恐れがあります。
- ② 正しく充電してください。
 - この充電器は，定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
異常に発熱し，火災の恐れがあります。
 - 温度が 10℃未滿，あるいは温度が 40℃以上では，蓄電池を充電しないでください。
破裂や火災の恐れがあります。
 - 蓄電池は，換気の良い場所で充電してください。蓄電池や充電器を，充電中布などで覆わないでください。
破裂や火災の恐れがあります。
 - 使用しない場合は，さし込みプラグを電源から抜いてください。
感電や火災の恐れがあります。

 **警 告**

- ③ 蓄電池の端子間を短絡させないでください。
釘袋などに入れると、短絡して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ 感電に注意してください。
 - ぬれた手で、充電器のさし込みプラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。
- ⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 充電器、蓄電池は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃性の液体やガスのある所で充電しないでください。
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。
- ⑥ 蓄電池を火中に投入しないでください。
破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

 **注 意**

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 子供を近づけないでください。
 - 作業員以外、充電器のコードに触れさせないでください。
けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
けがの原因になります。
- ③ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所、または鍵のかかる所に保管してください。
事故の原因になります。
 - 蓄電池を、温度が50℃以上になる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 注 意

④ 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。
感電や、ショートして発火する恐れがあります。

⑤ 充電器は、注意深く手入れをしてください。

- 充電器のコードは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 継ぎ(延長)コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
感電や、ショートして発火する恐れがあります。

⑥ 屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ(延長)コードを使用してください。

⑦ 充電器の修理は、専門店で依頼してください。

- サービスマン以外の方は、充電器や蓄電池を分解したり、修理・改造は行わないでください。
発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
- 充電器や蓄電池の異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。



Ni-Cd

ニカド電池は
リサイクルへ

ニカド電池はリサイクルへ！

本機に使用のニッケルカドミウム蓄電池(ニカド電池)はリサイクル可能な貴重な資源です。

蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの日立電動工具販売店、または日立工機電動工具センターにお持ち込みください。

各部の名称

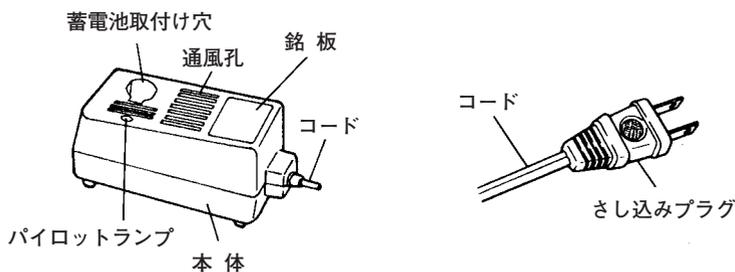


図 1

仕 様

充電器入力電源	単相交流	50 / 60 ヘルツ (Hz) 共用
	電 圧	100 ボルト (V)
充 電 時 間	約 1 時間	(気温 20℃時)
充 電 器	充電電圧	2.4 ボルト (V)
	充電電流	1.5 アンペア (A)
	コ ー ド	2 心ビニールコード
重 量	1 kg	

用 途

○日立蓄電池EB 2形の充電用

充電方法

警告

- 充電器は、必ず定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。また、昇圧器などのトランス類も使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。

注意

- さし込みプラグを電源にさし込む前に、さし込みプラグやコードに損傷がないことを確認してください。損傷している場合は、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。感電やショートして発火する恐れがあります。

1. 蓄電池を充電器に取付ける……………

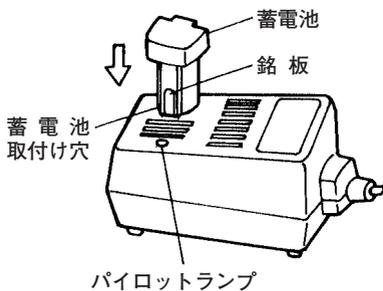


図 2

蓄電池の銘板が充電器のパイロットランプ側にくるよう蓄電池の取付け方向に注意し、充電器の底に当たるまでしっかりとさし込んでください。(図2)

2. 充電器のさし込みプラグを電源にさし込む……………

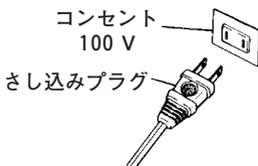


図 3

充電器のさし込みプラグをコンセントにさし込みますと、パイロットランプが点灯し、充電を開始します。(図3)

- 注**
- さし込みプラグをさし込んだとき、コンセントがガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになると、火災の恐れがあります。
 - パイロットランプが点灯しない場合は、さし込みプラグをコンセントから抜き、蓄電池の取付けが確実かどうか、お確かめください。
 - 充電する際は、充電器に蓄電池をまず接続し、その後、さし込みプラグをコンセントにさし込んでください。逆に行ないますと充電しないことがあります。

3. 充電する……………

気温が20℃位ですと約1時間で満充電となり、充電器のパイロットランプが消灯し、充電完了をお知らせします。

- 注**
- 充電開始後2時間位たってもパイロットランプが消えないときは故障と考えられますので充電を中止して、お買い求めの販売店にご持参ください。
 - 同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。一度充電が完了したら、次の充電まで15分程度休ませてください。
 - 蓄電池を直射日光の当たる所に長時間放置したり、使用した直後など蓄電池が多少熱をもっている場合に、すぐ充電すると充電器のパイロットランプが点灯しないことがあります。
このようなときは、充電できませんので、少し時間をおいて、蓄電池が冷えてから充電してください。

4. 充電器のさし込みプラグを電源から抜く……………

コードを引っ張らず、プラグを持って抜きます。

5. 蓄電池を充電器から抜く……………

充電器を手で支え、蓄電池を充電器より抜き取ります。
これで充電完了です。

- 注**
- 正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がきたものとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。寿命のつきた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。
なお、使用不能の蓄電池は廃棄せずに、最寄りの日立電動工具販売店にお持ち込みください。

保守・点検



警告

- 点検・手入れの際は、必ずさし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1. 各部取付けネジの点検……………

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら、締めなおしてください。ゆるんだままお使いになりますと、事故の原因になります。

2. 表面のよごれ清掃……………

本機の外枠のよごれは乾いたやわらかい布か、または石けん水をつけた布などでふいてください。塩素系溶剤や、ガソリン、シンナー類はプラスチックを溶かす作用をしますので使わないでください。

3. 作業後の保管……………

作業後は気温 50℃以下でお子様の手の届かない乾燥した場所に蓄電池を充電器から抜いて保管してください。

ご修理のときは

本機は、厳密な精度で製造されています。したがって、もし正常に作動しなくなったような場合には、決してご自分で修理をなさらないで下記のところにご用命ください。

最寄りの { 日立電動工具販売店 }
{ 日立工機電動工具センター }

ご不明のときは、裏表紙の日立工機サービス(株)サービス技術センター、または営業拠点にご相談ください。

その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

メ 毛

メ モ

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	販売店
製造番号(No.)				電話番号

- 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記のサービス技術センターにお問い合わせください。

● 全国サービス拠点——日立工機サービス(株) サービス技術センター

本社サービス技術部	〒100	東京都千代田区大手町二丁目6番2号(日本ビル)	☎(03) 3245-1288(代)
北海道サービス技術センター	〒060	札幌市中央区大通東十丁目11番4号	☎(011) 251-5831(代)
東北サービス技術センター	〒984	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号	☎(022) 288-8681(代)
東京サービス技術センター	〒115	東京都北区浮間五丁目16番8号	☎(03) 5392-4721(代)
関東サービス技術センター	〒115	東京都北区浮間五丁目16番8号	☎(03) 5392-4477(代)
中部サービス技術センター	〒490-11	愛知県海部郡大治町大字西條字壺町田18番2号	☎(052) 443-0891(代)
北陸サービス技術センター	〒920-03	金沢市古府二丁目297番地	☎(0762) 69-1147(代)
関西サービス技術センター	〒567	大阪府茨木市中穂積一丁目6番41号	☎(0726) 26-1301(代)
中国サービス技術センター	〒735	広島県安芸郡府中町浜田本町5番29号	☎(082) 285-3281(代)
四国サービス技術センター	〒761-01	高松市屋島西町字百石1981	☎(0878) 44-1851(代)
九州サービス技術センター	〒813	福岡市東区松島四丁目8番5号	☎(092) 621-5738(代)

● 全国営業拠点——日立工機株式会社

営業本部	〒100	東京都千代田区大手町二丁目6番2号(日本ビル)	☎(03) 3270-6131(代)
北海道支店	〒060	札幌市中央区北三条西四丁目(日生ビル)	☎(011) 271-4751(代)
東北支店	〒984	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号	☎(022) 288-8676(代)
首都圏本部	〒100	東京都千代田区大手町二丁目6番2号(日本ビル)	☎(03) 3242-0505(代)
関東支店	〒100	東京都千代田区大手町二丁目6番2号(日本ビル)	☎(03) 3242-0621(代)
中部支店	〒460	名古屋市中区栄三丁目7番13号(コスモ栄ビル)	☎(052) 262-3811(代)
北陸支店	〒920	金沢市広岡二丁目13番37号(ST金沢ビル)	☎(0762) 63-4311(代)
関西支店	〒541	大阪市中央区北浜三丁目5番29号(日生日立ビル)	☎(06) 231-6578(代)
中国支店	〒730	広島市中区基町11番13号(第一生命ビル)	☎(082) 228-0537(代)
四国支店	〒760	高松市中央町5番31号(中央町ビル)	☎(0878) 34-6111(代)
九州支店	〒810	福岡市中央区天神一丁目14番16号(三栄ビル)	☎(092) 721-1090(代)

- 電動工具ご相談窓口——お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター フリーダイヤル 0120-20 8822 (無料)